

Tongali-PF presents

表示名を「機関名_氏名」でお願いします

令和7（2025）年度
大学発新産業創出基金事業
スタートアップ・エコシステム共創プログラム
GAPファンドプログラム『ステップ1』

採択者説明会

2026.3.13

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
イノベーション・アントレプレナーシップ推進室
(Tongaliプラットフォーム事務局)



※Tongaliは登録商標です

はじめに

◆説明会の主旨

GAPファンド 令和7年度STEP1採択者の皆様に、

- ・JST向けの研究開発計画提出

- ・採択中の具体的なインキュベーションプログラムおよびスケジュールの理解を図り、プログラムの円滑な進行、有効活用を促進する

◆コンテンツ

- ①当面の実施事項

- ②計画書の作成～承認まで

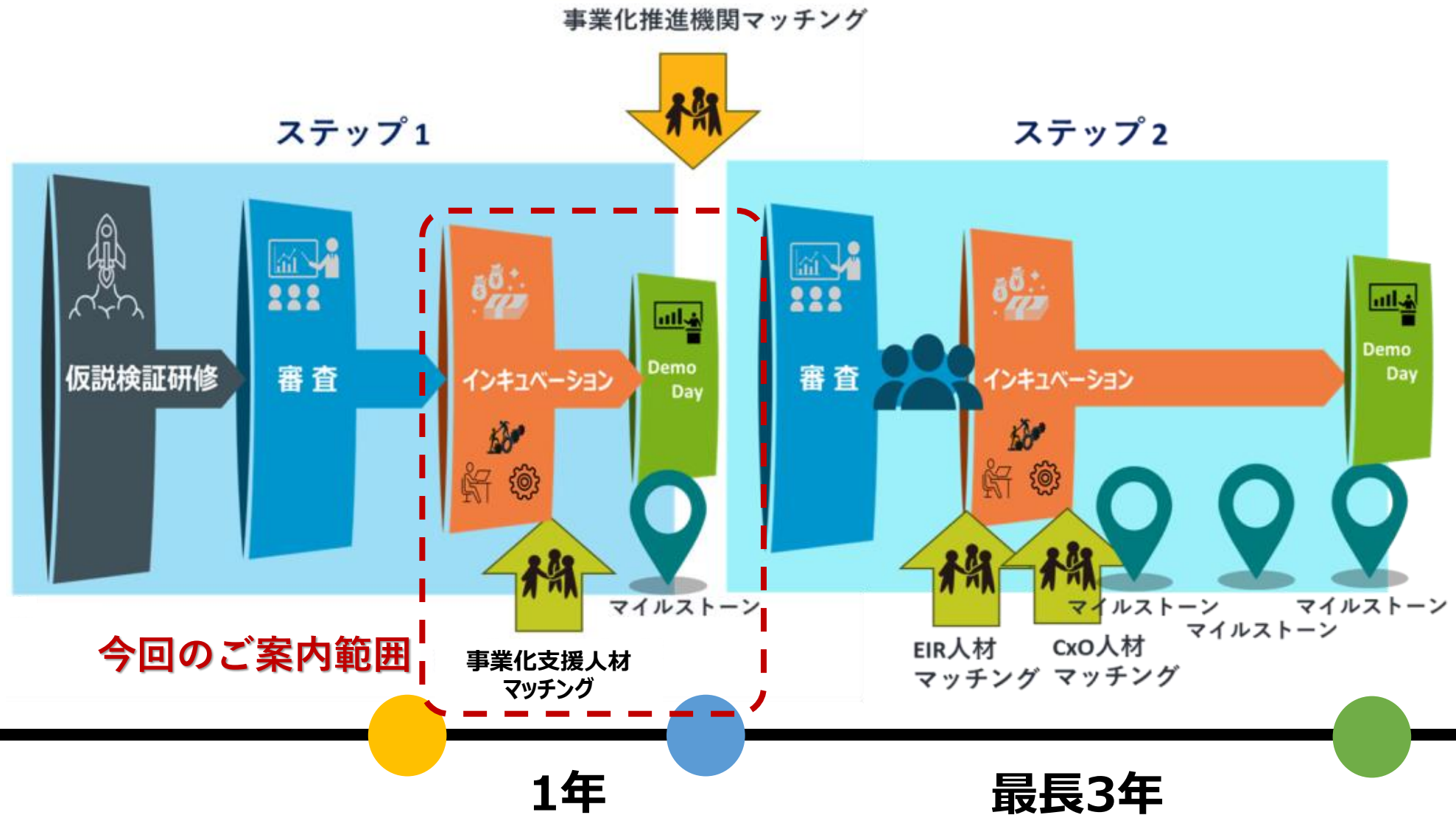
- ③今後の流れについて

- ④インキュベーションプログラム内容

- ⑤特許取得費用の支援について

◆JSTによる採択承認（目標 5/1）までは口外NG

GAPファンド全体概要（振り返り）



当面の実施事項

全案件の計画書が揃うことがJSTの受付の前提となります。
抜け漏れの無いよう、ご対応願います。

① 計画書関連

(様式類・マニュアル) <https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/ETLadagBepjb9SQ>

・計画書提出：3/31（火） 9:00

提出先：TongaliGAPファンド事務局 tongali_x_admin@g.thers.ac.jp

※PFをまたがった共同実施の場合

-3/16（月）16時 共同研究者情報を事務局へ連絡

・PF名 例：GTIE

・機関名 ○○大学

・所属・氏名・メールアドレス

-3/24（火）正午 計画書提出

② 事業化支援人材マッチング希望把握への回答

※全チーム回答願います

・回答期日 3/17（火）正午

[回答フォーム](#)よりお願いします

計画書の作成～承認

1.スケジュール

- ① 3/16（月）16時：PF跨り共同研究報告
- ② 3/31（火）9:00：計画書提出
 - ↓ PF跨りの共同研究：跨りあり連絡 3/16 16時、計画書：3/24 正午
 - ↓ **（事務局・JST対応、個別修正対応等）**
- ③5月 1W頃 計画承認（想定）⇒活動開始（着金までは機関内で立替）
- ④6/1付 契約
- ⑤後日 着金

2.作成・提出物

様式名	内容及び注意事項
計画様式2 研究開発計画書	事業化に向けた活動計画を記載するもの。 研究開発課題ごとに、研究代表者が作成してください。
計画様式2別紙 参加者リスト	研究開発課題の参加者を一覧化したもの。 研究開発課題ごとに、研究代表者が作成してください。
計画様式3-3 研究開発費 資金計画書	研究代表者がビジネスモデルのブラッシュアップ、試作品作成、データ（実験結果、計算結果）等の整備を進めるための費用を積算してください。 研究開発課題ごとに研究代表者が作成してください。主たる共同研究者がいる場合は、研究代表者とは別に作成ください。 ※JSTが内容を確認のうえ、執行を認めないことがあります。

および データマネジメントプラン

主たる共同研究者がいる場合は、研究代表者の作成する計画書とは別に計画書を作成してください。
主たる共同研究者の研究費の執行管理は主たる共同研究者の所属機関で実施してください。

名前	種類
その他様式	ファイル フォルダー
マニュアル類	ファイル フォルダー
①計画様式2_研究開発計画書_Tongali2025-xx_●●大・●●PJ（SUIコ共創）	Microsoft Word 文書
②計画様式2 別紙_参加者リスト（研究開発）_Tongali2025-xx_●●大・●●PJ（SUIコ共創）	Microsoft Excel ワークシート
③計画様式3-3_研究開発費 資金計画書_Tongali2025-xx_●●大・●●PJ（SUIコ共創）	Microsoft Excel ワークシート
④データマネジメントプラン_研究開発_Tongali2025-xx_●●大・●●PJ（SUIコ共創）	Microsoft Excel ワークシート

所属機関	分野	代表者名	課題ID (XX)	[PF内課題ID]_[機関名]_[PJ名]
名古屋大学	モノ	秋山 真理	12	Tongali2025_12_名古屋大学_秋山PJ
	モノ	黒田 啓介	13	Tongali2025_13_名古屋大学_黒田PJ
	モノ	高木 紘	14	Tongali2025_14_名古屋大学_高木PJ
	モノ	米澤 拓郎	15	Tongali2025_15_名古屋大学_米澤PJ
	医療	岡田 龍	16	Tongali2025_16_名古屋大学_岡田PJ
	医療	佐伯 将臣	17	Tongali2025_17_名古屋大学_佐伯PJ
	創薬	佐藤 和秀	18	Tongali2025_18_名古屋大学_佐藤PJ
豊橋技術科学大学	モノ	柴田 隆行	19	Tongali2025_19_豊橋技術科学大学_柴田PJ
岐阜大学	モノ	大野 敏	20	Tongali2025_20_岐阜大学_大野PJ
	創薬	高須 正規	21	Tongali2025_21_岐阜大学_高須PJ
	医療	高橋 佳大	22	Tongali2025_22_岐阜大学_高橋PJ
	創薬	本田 諒	23	Tongali2025_23_岐阜大学_本田PJ
三重大学	モノ	諏訪部 圭太	24	Tongali2025_24_三重大学_諏訪部PJ
	医療	江口 暁子	25	Tongali2025_25_三重大学_江口PJ
藤田医科大学	創薬	國澤 和生	26	Tongali2025_26_藤田医科大学_國澤PJ
	創薬	和知野 純一	27	Tongali2025_27_藤田医科大学_和知野PJ
静岡大学	モノ	小野 篤史	28	Tongali2025_28_静岡大学_小野PJ
	モノ	河岸 洋和	29	Tongali2025_29_静岡大学_河岸PJ
	モノ	高永 晃好	30	Tongali2025_30_静岡大学_高永PJ
	モノ	長尾 遼	31	Tongali2025_31_静岡大学_長尾PJ
	医療	佐々木 晋朗	32	Tongali2025_32_静岡大学_佐々木PJ
	創薬	平川 和貴	33	Tongali2025_33_静岡大学_平川PJ
	名古屋工業大学	モノ	田中 由浩	34
静岡県立大学	モノ	明正 大純	35	Tongali2025_35_静岡県立大学_明正PJ
	医療	森本 堅一郎	36	Tongali2025_36_静岡県立大学_森本PJ
	創薬	三好 規之	37	Tongali2025_37_静岡県立大学_三好PJ
静岡理科大学	モノ	南甯 勉	38	Tongali2025_38_静岡理科大学_南甯PJ
	医療	小土橋 陽平	39	Tongali2025_39_静岡理科大学_小土橋PJ

資金計画書について

作成上の留意点

・採択通知上の金額を**直接費**の上限として策定

-創薬系は最大1,000万円

-モノづくり系・医療系（創薬以外）は最大500万円

※消費税込みで計画

・審査申請時の計画から変更可

※審査員からの意見：

GAPファンドでの目標と結びついた資金計画とするよう確認・精査

・事業化支援人材（CxO候補人材）について

→マッチングを想定しているチームは80万円を計上
（10万円/月×8か月）

マッチング希望把握 〃 3/17（火）正午

登録フォーム

※希望しないチームも回答願います

	A	B	C	D
1	(計画様式3-3)			
2		1年度目(2025年度)	課題予算【○○○○○○○○○○○○○○○○○○○】	
3	①物品費	5,980	千円	< Tongali > 計画総額は、直接費で以下となります。 ・創薬系：最大1,000万円 ・モノづくり系・医療系（創薬以外）最大500万円 ※消費税込み
4	②旅 費	2,430	千円	
5	③人件費・謝金	11,800	千円	
6	④その他	6,850	千円	
7	直接経費計（Ⅰ～Ⅳ）	26,860	千円	
8				
9		単位：千円		
10		1年度目 予算希望額		使途
11				
12		1,000	表面電位測定装置(メーカ:●●、型名:●●) 1台:作製材料の電気特性評価	
13		1,500	熱伝導率測定装置(メーカ:●●、型名:●●) 1台:作製材料の熱特性評価	
14		700	試薬(エタノール、ポリイミド、PPS等):合成用材料	
15		480	〇〇実験用モデル動物:〇〇試験のため	
16		300	研究資材(無塵服・手袋等):クリーンブース実験のため	
17	①物品費	2,000	●●製造機械装置(メーカ:●●、型名:●●) 1台:顧客候補の評価用	
18				
19				
20				
21				
22				
23				このセルより前に挿入ください、
24		480	東京⇄福岡、12回、研究代表者、プロモーター打合せ	
25		1,200	東京⇄姫路、3回×4名、3泊4日、Spring-8測定	
26		50	近郊、1千円×50回、知財戦略・アライアンス候補等	
27	②旅費	400	米MIT〇〇教授・招聘旅費、xxの米国動向情報収集	
28		300	米NY・ACS総会・4泊6日・研究代表者(XX材料の動向調査)	
29				
30				
31				このセルより前に挿入ください、
32		3,200	特任助教1名(〇〇)×6ヶ月相当	
33		5,400	技術員2名(〇〇、〇〇)×6ヶ月相当、xxプログラミング	
34		2,500	実験補助派遣社員1名×6ヶ月相当、xx実験	
35	③人件費・謝金	400	〇〇実験リサーチアシスタント2名×2千円×100h	
36		100	MIT〇〇教授・米国xx材料開発動向講演謝金	
37				
38				事業化支援人材マッチングを希望の場合: 800 (千円) 事業化支援人材(未定、10万円/月)×8ヶ月相当
39				
40				このセルより前に挿入ください、
41		450	(外注費)遺伝子編集技術の知財調査・〇〇株式会社	

計画書の提出・他PFとの共同研究について

【個別研究開発課題に係る計画様式】

- ・ 計画様式2_研究開発計画書_Tongali2025-xx_●●大・●●PJ (SU エコ共創) .docx
- ・ 計画様式2 別紙_参加者リスト (研究開発)_Tongali2025--xx_●●大・●●PJ (SU エコ共創) .xlsx
- ・ 計画様式3-3_研究開発費 資金計画書_Tongali2025-xx_●●大・●●PJ (SU エコ共創) .xlsx
- ・ データマネジメントプラン_研究開発_Tongali2025-xx_●●大・●●PJ (SU エコ共創) .xlsx

①3/16 (月) 16時：PF 跨り共同研究報告

②3/31 (火) 9:00：計画書提出

PF 跨りの共同研究：跨りあり連絡 3/17 16時、計画書：3/24 正午

提出先 **tongali_x_admin@g.thers.ac.jp**

全案件の計画書が揃うことがJSTの受付の前提となります。
抜け漏れの無いよう、ご対応願います。

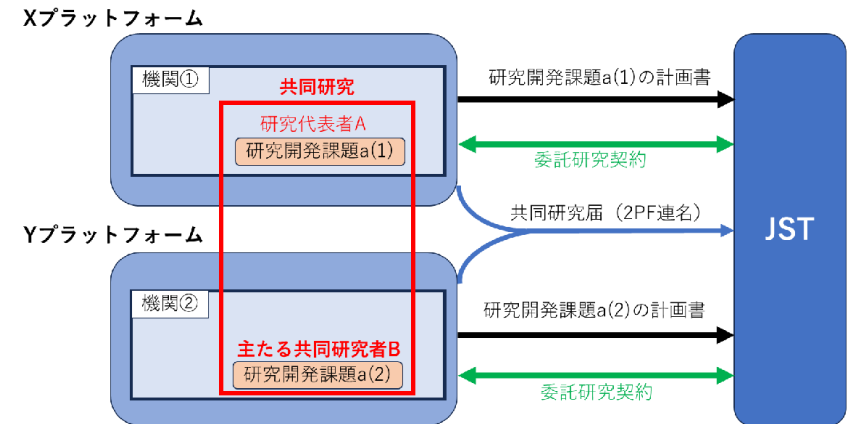
PFをまたがった共同研究の場合は3/16 (月) 16時までに事務局あてにお知らせください。

相手のPF事務局に連絡します。

(お知らせいただく内容)

- ・ PF名 例：GTIE
- ・ 機関名 ○○大学
- ・ 所属・氏名・メールアドレス

【異なるPFを跨いで共同研究を行う場合のイメージ (研究者ハンドブックP.10)】



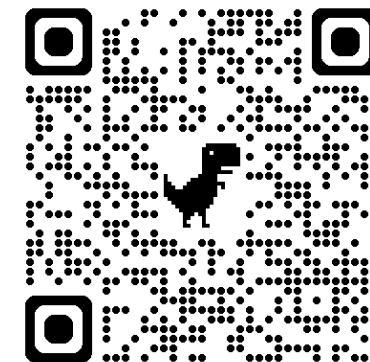
共同研究可能な他PF所属機関は下記にてご確認ください。

<https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/su-ecosys/project2023.html>

【参考】マニュアル類の横断検索（試行中）

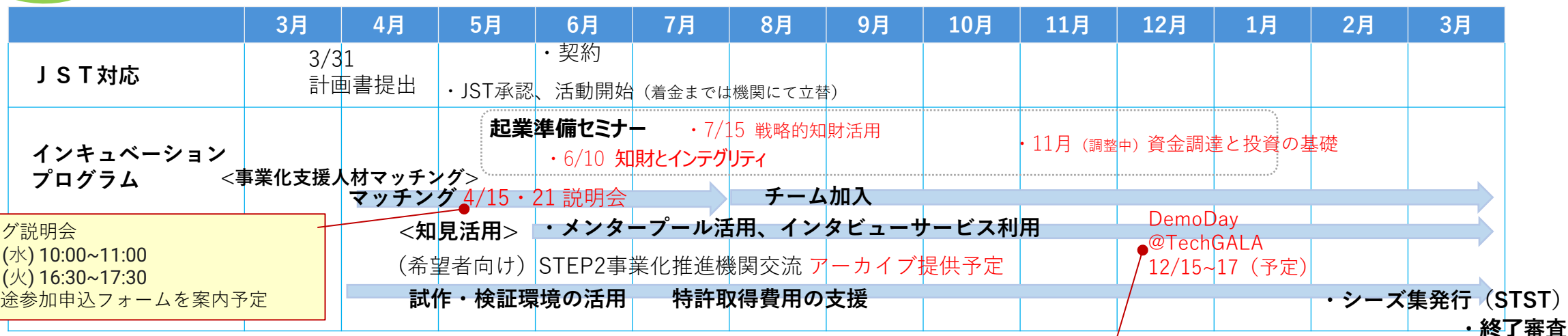
<https://notebooklm.google.com/notebook/ad58591b-61f9-4de7-b76e-5e204aaf7396>

- ・ JST提供の公開済み要項・マニュアル類を元に、AIに質問な仕組みを試行中です。
- ・ 自然な言葉で質問でき、マニュアル類の中から、ソース付きで回答が得られます。
- ・ ソース部分を探す参考としてご活用ください



The screenshot shows the NotebookLM web interface. The top bar includes a logo, the title 'スタエコ共創_要項・マニュアル', a share icon, and buttons for '+ ノートブックを作成', '設定', and a user icon 'K'. The left sidebar, titled 'ソース', lists eight PDF documents with checkboxes, all of which are checked. The main chat area, titled 'チャット', contains a user question: '当初の予算計画と異なる予算執行をする場合の留意点は？'. The AI response explains that budget execution differs from the plan due to inter-budget flow and provides two main points: 1. Restrictions and rules for inter-budget flow, and 2. The procedure for changing the research plan. The response is formatted with bold text and numbered steps. At the bottom, there is an input field with the placeholder '入力を開始します...' and a button '8 個のソース' with a right arrow. A footer note at the very bottom states: 'NotebookLM は不正確な場合があります。回答は再確認してください。'

今後の流れ・インキュベーションプログラム



マッチング説明会
・ 15日(水) 10:00~11:00
・ 21日(火) 16:30~17:30
→ 別途参加申込フォームを案内予定

・ TechGALAの日程が判明
・ TechGALA内でのDemoDayの日程は未定

◆ 起業準備セミナー

- 資金調達、特許戦略をはじめとした起業に必要となるスキルを習得

◆ チームアップ・外部の知見活用

- 事業化支援人材マッチング
- PF共有のメンタープールへの相談
- ビジネスの特定分野に知見を持つ個人に相談・インタビューできるサービスの利用

◆ Demo Day（成果報告会）

- 技術シーズと事業モデルについてベンチャーキャピタリストや協業パートナー候補へのピッチを実施

◆ 達成状況確認

- 申請時に設定した達成目標（マイルストーン）に対する進捗状況を確認

◆ その他ツール・イベント

- ✓ 採択者向けサイト
- ✓ 試作・検証環境の活用（Tongali Lab／共用機器）
- ✓ 技術シーズ集（STST）の発行
- ✓ STATIONAi座席利用
- ✓ 特許取得費用の支援

起業準備セミナー

➤ 概要：資金調達、特許戦略、インテグリティをはじめとし、研究シーズを元にした起業に必要なとなるスキルを習得

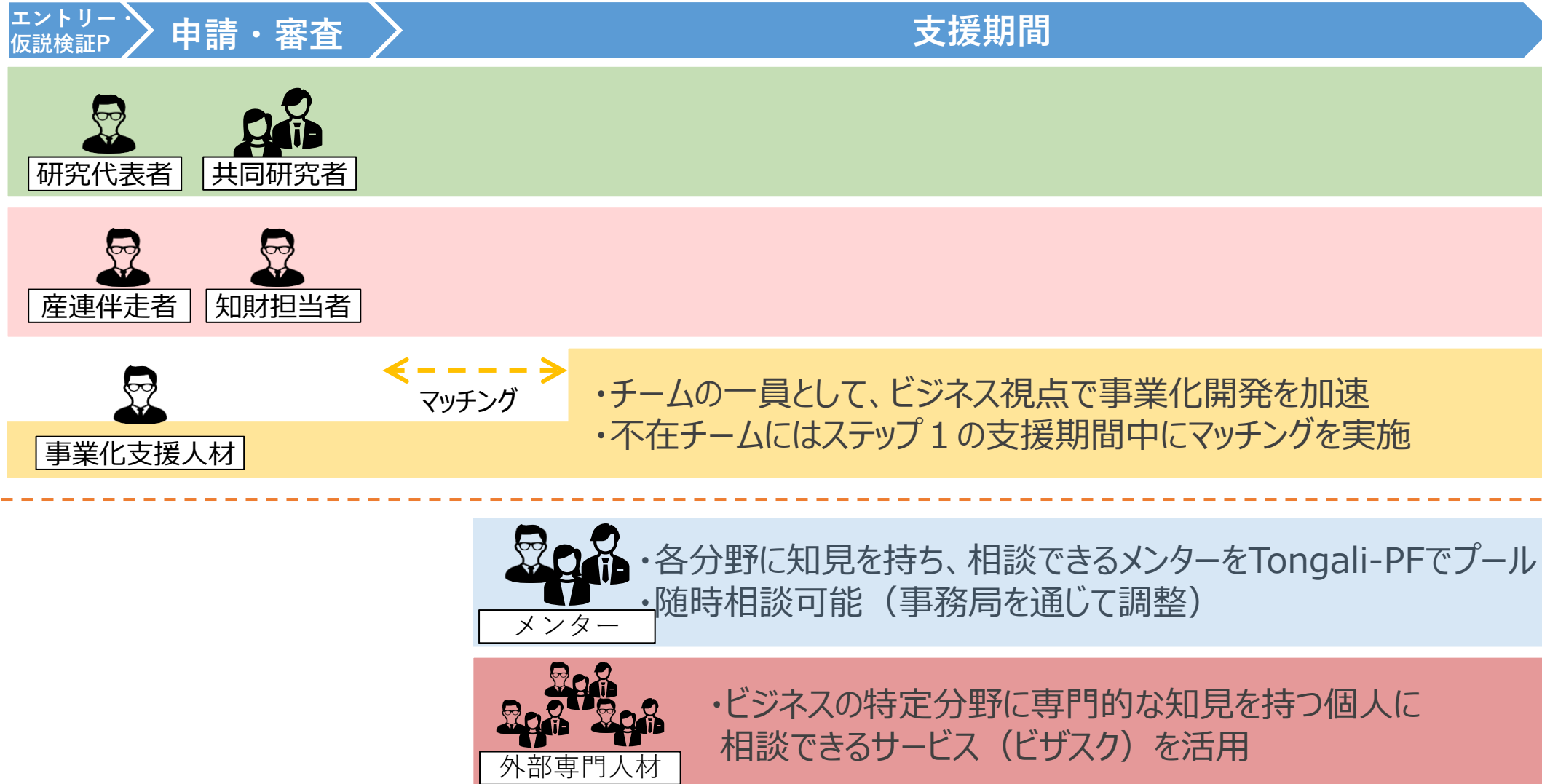
➤ 受講対象者：チームメンバー

(研究代表者・共同研究者・事業化支援人材、産連伴走者等)

※原則、チームの方どなたかは必ずご参加をお願いします

	日程	講義内容	講師 / 開催場所	備考
①	6/10 (WED) 13:00-15:30	研究成果を守る・活かすための 知財とインテグリティ	名古屋大学 鬼頭教授、石川URA	・対面@オフィスパーク名駅プレミアホール(※) ※名古屋駅から徒歩4分 ・交流会あり ・アーカイブ動画あり
②	7/15(WED) 13:00-16:00	スタートアップを作るための 戦略的知財活用	弁護士法人 内田・鮫島法律相談事務所 ご担当者	・オンライン ・アーカイブ動画あり
③	7/28(TUE) 15:00-16:50	今日から使える！ 研究×AI 実践入門	studio veco 代表 伊藤 雅康 様 Givin' Back 取締役COO 田中 悠介 様	・オンライン ・アーカイブ動画あり ※2026.06.04更新
④	10/1(THU) 15:00-18:40	事業拡大のための資金調達と 投資の基礎	VC、銀行関係者など 名古屋大学	・対面@名古屋大学 NIC Idea Stoa ・交流会あり ・アーカイブ動画なし ※2026.05.27更新

チームアップ・外部の知見の活用



ビジネス視点を取り入れたSTEP1事業検証の加速

ビジネス視点を取り入れ、事業性を検証し、次のステージに向けた準備が必要。（優れた研究 ≠ 有望なビジネス）

-顧客ニーズに基づく事業計画・収益性のブラッシュアップ

-事業化推進機関(VC)や協業候補(事業会社、製造パートナー)の獲得に向けた、プレゼン内容・資料の磨き上げ

STEP1→2への接続の例

STEP1

STEP2

前半

- 顧客候補への**ニーズヒアリング**
- 既存/競合製品との優位性検討

- 顧客が求める機能・性能・コスト把握
- 競合優位性を強める知財・ノウハウ検討
- 現実的な**市場規模・ビジネスモデル**把握

- Demo Dayでの**プレゼン**
(事業化推進機関、事業会社、製造パートナー)

- 求められる機能・性能の実証（PoC）
 - 新しい機能・性能向上に向けた応用研究
 - 量産化・コスト低減に関する研究

- スタートアップ組成に向けた準備

STEP2での共同申請に向けて、
ビジネス人材に響くプレゼンが必要

事業化支援人材マッチング

- 目的：ビジネスをリードする人材が不在のチームに対し、事業化検証を加速する人材のマッチングを実施
- 実施時期：マッチング 5～7月、チーム加入 8月（想定）
（事業化支援人材の加入前も、伴走支援者とともに、メンター・外部人材を利用した活動を積極的に進めてください）

●実施イメージ（案）



事業化支援人材に期待される役割 ※人材事業者の支援の元、研究チームも関わって人材要件定義・人選を実施

- シーズの特徴を理解し、起業に向けた以下の活動をチームの一員として実施し、事業化を推進する
- 事業戦略の策定 - 市場調査の立案・実施 - 次のステージに向けた目標の設定、および目標達成に向けた諸活動

- 参画期間：2026年8月～2027年3月（想定）
- エフォート：月10-20時間程度（会議 月2回/月 含む）
- 費用：謝金 月5-10万円程度 各チームの研究開発費（マッチングまでは事務局負担）
- 参画方法：オンライン会議を基本的とする
- 想定稼働：[マッチング希望確認](#)への回答（**3/17正午**）、マッチング事業者による説明会（4/15 10時～、4/21 16時半～ ※アーカイブあり）、チームごとの求人要件を作成（4～5月）、書類選考・面談等（5～7月）

マッチング希望チームは、資金計画書に10万円×8か月を計上
※謝金ルールは、各機関の規定に準拠
(弊学ルールが必要な方はお問い合わせください)

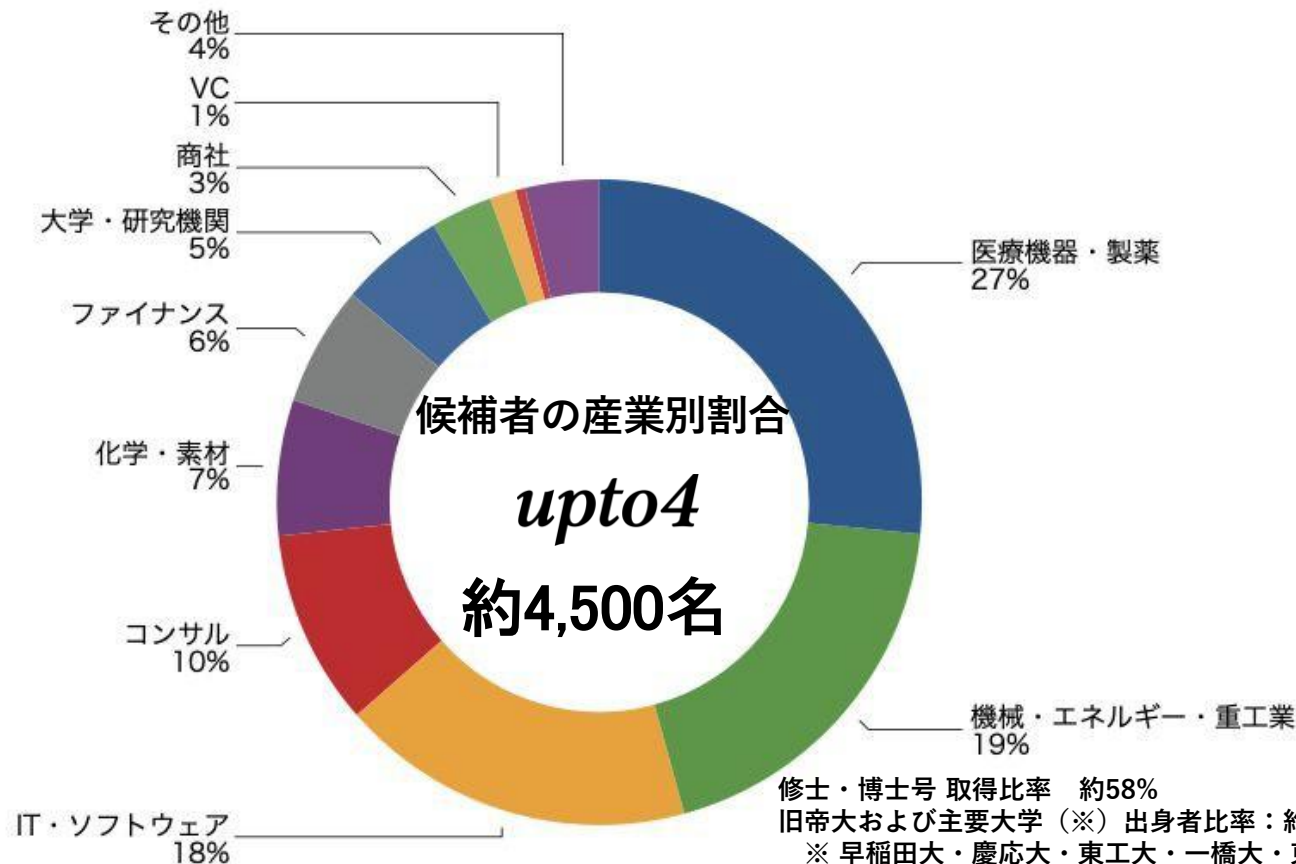
活用予定の事業化支援人材プール

○研究開発型スタートアップの創業支援・経営チーム組成支援に特化したupto4社のプールを活用

- アカデミア+ビジネスのバックグラウンドを有する人材が多数登録
- チームごとの研究計画書を元に、求人要件定義や人選・面談もサポート

○支援人材候補者のモチベーション

- 自分の専門性や経験を活かしたい、出身地域に貢献したい
- リモートワーク+低リスクの副業で、将来のジョイン先を探索



修士・博士号 取得比率 約58%
旧帝大および主要大学（※）出身者比率：約46%
※ 早稲田大・慶応大・東工大・一橋大・東京理科大
東京大 12%、早稲田大 6%、慶応大 6%、京都大 5%

Pharma & Medical



Electronics & Robotics



Chemistry & Material



Consulting & Finance



メンタープールの活用

- ビジネスや技術の各分野に知見を持ち、相談できるメンターをTongali-PFでプール
- 随時相談可能（事務局を通じて調整）、1時間/1回を想定
- 費用：プログラム推進費より支出予定



中川 卓也 氏
株式会社アカデミック・
ギャングスター代表取締役



丸山 太一郎 氏
中小企業基盤整備機構
中小企業アドバイザー
(スタートアップ)



服部 裕輔 氏
株式会社 Sun Asterisk



平山 雄太 氏
IDEAPOST 株式会社
代表取締役社長



宗像 亮介 氏
メゾメリー株式会社
代表取締役



長袋 洋 氏
SFG SCIENCES 株式会社
代表取締役 CEO
Juro Sciences 株式会社
代表取締役
合同会社 YP Shoten 代表社員
東北大学病院臨床研究推進
センター 客員教授



	中川卓也	丸山太一郎	服部裕輔	平山雄太	宗像亮介	長袋洋	内田・鯉島 法律事務所
創業全般					○	○	
資本政策・ストックオプション	○					○ (創業)	
事業モデル構築、事業戦略	○	○	○	○	○ (創業)		
知財戦略					○ (創業)		○
新株予約権等の設計	○						
M & A						○ (創業)	
I P O 準備			○				
資金調達	○		○			○ (創業)	
補助金申請		○					
企業との連携支援		○		○			
海外展開・海外市場調査				○			
チームビルディング		○		○			
人材戦略、人材採用		○	○				
労務		○					
法務							○
コーポレートガバナンス	○			○		○ (創業)	
スタートアップ分野の規制緩和				○			

※専門分野の○が追加される可能性あり

ビザスク（外部専門人材相談サービスの活用）

概要：ビジネスの特定分野に専門的な知見を持つ個人に相談できるサービスを利用可能

＜活用例＞

- ・新規事業やマーケティングに関するアドバイス
- ・資金調達や組織づくりの経営相談
- ・業界調査
- ・ユーザーインタビュー 等

＜想定回数＞ 支援期間中 3回（海外人材含む）

＜費用＞ プログラム推進費（事務局費用）より支出予定

DemoDay（成果報告会）

- 概要：技術シーズと事業モデルについてベンチャーキャピタリストや協業候補へのピッチを実施
- 時期：2026年12月15-17日（TechGALA（<https://techgala.jp/>）内で実施）
- 聴講者（想定）
 - ・採択時の審査員・メンター
 - ・ベンチャーキャピタリスト
 - ・協業候補（事業会社等）
 - ・地域の人材コミュニティ
 - ・自治体等支援者
 - ・大学 産連部門 等

JST大学発新産業創出基金事業「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」

Tongali GAPファンド DEMO DAY 2026 in TechGALA 2026

2026
1/28 ⑧
15:30 - 18:00

【Tongali GAPファンドプログラム】は、東海地区の大学・研究機関の研究成果の事業化を支援しています。今回、14大学・1研究機関の中から選ばれた29チームが、プログラムを通じて磨き上げた事業化プランを発表します。有望なスタートアップ誕生に同僚研究シーズにご期待ください！

場所
アーバンネット名古屋ネクスタ
カンファレンス 3F
(名古屋駅南地下鉄 久屋大通駅/栄駅 地下道直結)

内容
GAPファンド採択者によるピッチ

ものづくり系 13チーム
会場9階STP1：13チーム
会場9階STP2：2チーム

医療・創薬系 16チーム
会場9階STP1：15チーム
会場9階STP2：1チーム

参加資格
TechGALA2026チケットをお持ちの方
Visitor(学生の方はStudentパス)以上
から、ご観覧いただけます。

TechGALA 2026
世界中から、現在の社会をリードする最先端の
プロフェッショナルたちが集結。革新的な技術や
社会課題などさまざまな分野で、世界的なネットワーク
を創出するグローバルイベント。

本セッションの詳細情報はこちら
Tongali GAPファンドDEMO DAY HP

ものづくり系
G Stage (ROOM A)
コメンテーター
Beyond Next Ventures 株式会社
執行役員/パートナー 堀川 亮希 氏

医療・創薬系
H Stage (ROOM B+C)
コメンテーター
株式会社Pro Bio
代表取締役 山本 善幸 氏

ものづくり系
コメンテーター
中小企業基盤整備機構
中部産業アドバイザー
丸山 太一郎 氏

医療・創薬系
コメンテーター
Q&Eキャピタル 合同会社
シニアアドバイザー
黒島 三佳 氏

ものづくり系
株式会社MTG Ventures
コミュニティ・マネージャー/キャピタリスト
山本 有聖 氏

医療・創薬系
フリーアナウンサー/
バイリンガルMC
坂本 あゆみ 氏

Contact
名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 イノベーション・アントレプレナーシップ推進室
Tongali事務局
MAIL: tongali_x_admin@g.thers.ac.jp



Tongali GAPファンド DemoDay模様 (2026/1/28 (水) @アーバンネット名古屋ネクスタカンファレンス)

IST大学院新産業創出委員会「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」

Tongali GAPファンド DEMO DAY 2026 in TechGALA 2026

2026
1/28
15:30 - 18:00

「Tongali GAPファンドプログラム」は、東海地区の大学・研究機関の研究成果の事業化を支援します。今回、14大学・1研究機関の中から選ばれた9チームが、プログラムを通じて最先端とされた事業化プランを発表します。有望なスタートアップ誕生に向けた研究シーズにご期待ください！

場所
アーバンネット名古屋ネクスタカンファレンス 3F
（名古屋駅東口下車、久通ビル2階「栄」地下通出口）

内容
GAPファンド採択者によるピッチ

ものづくり系 13チーム
医療・創薬系 16チーム

参加資格
TechGALA2026チケットをお持ちの方
Visitor/学生の方はStudentパス以上から、ご観覧いただけます。

TechGALA 2026
世界から、国内から選りすぐるプロフェッショナルたちが集結。革新的な技術や社会課題と向き合う多様な企業で、世界的なネットワークを創出す「グローバルイベント」。

本大会の開催地はこちら
Tongali GAPファンドDEMO DAY HP

Contact
名古屋大学 学術研究・産学連携推進本部 イノベーション・アントレプレiership推進室
Tongali事務局
MAIL: tongali_admin@thers.ac.jp

Tongali GAPファンドDEMO DAY 2026 タイムテーブル

※タイムテーブルは予定にないに変更する可能性があります。ご了承ください。

時間	テーマ	登壇者	所属
ものづくり系 G Stage (ROOM A) 令和6年度TFP1登壇者：13チーム			
15:30	観覧開始		
15:33	建築CAEの限界を越える：3D生成AIによる「建築設計」の実用化	岡口浩司	名古屋大学
15:42	高品質なAI生成画像の活用：AI生成画像による「建築設計」の実用化	岡口浩司	名古屋大学
15:51	高品質なAI生成画像の活用：AI生成画像による「建築設計」の実用化	岡口浩司	名古屋大学
16:00	安全・安心に向けた高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
16:09			
16:18	化学プロセス最適化（COP）：3D生成AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
16:27	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
16:36	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
16:45	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
16:54	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
17:03	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
17:12	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
17:21	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
17:30	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
17:39	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
医療・創薬系 H Stage (ROOM B+C) 令和6年度TFP2登壇者：16チーム			
15:30	観覧開始		
15:33	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
15:42	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
15:51	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
16:00	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
16:09			
16:18	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
16:27	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
16:36	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
16:45	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
16:54	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
17:03	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
17:12	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
17:21	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
17:30	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学
17:39	AIによる高品質なAI生成画像の活用	岡口浩司	名古屋大学



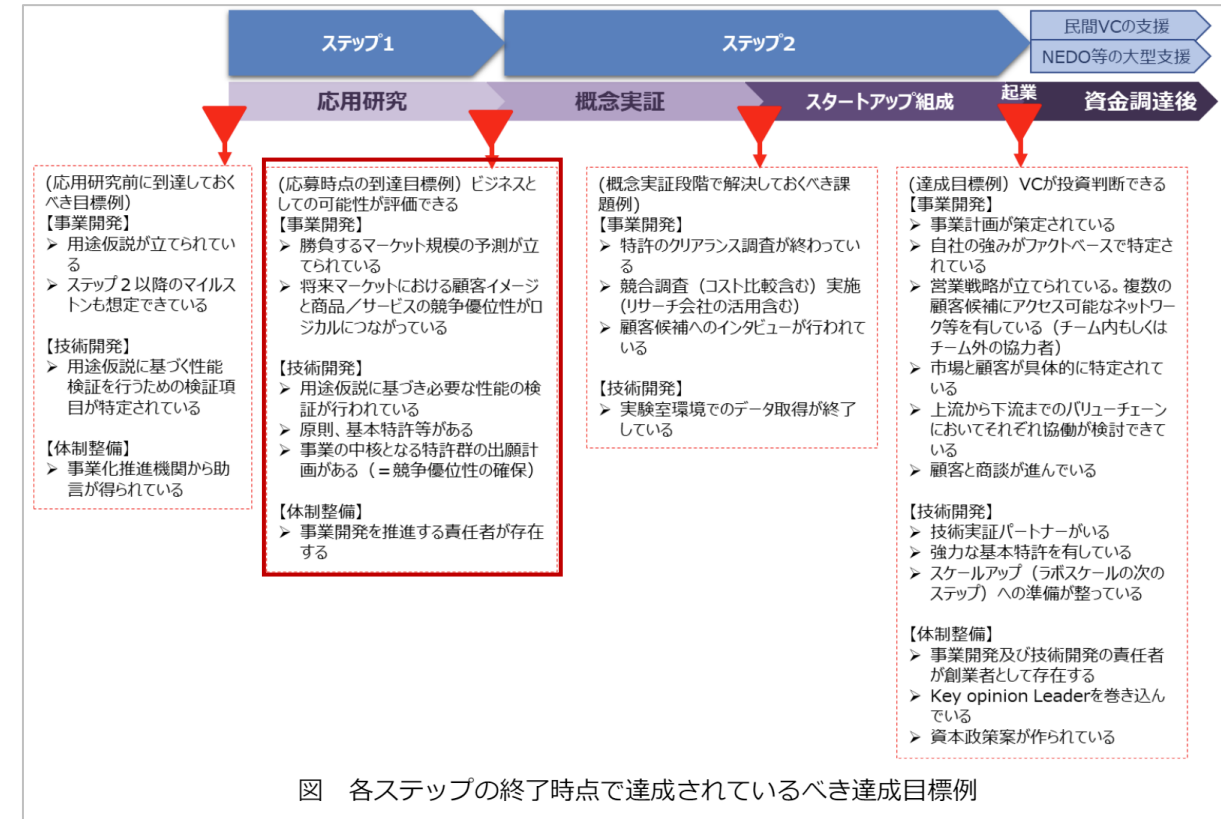
達成目標（マイルストーン）状況確認①

➤ 概要：申請時に設定した達成目標（マイルストーン）に対する進捗状況を確認
支援期間終了時に実施

➤ 目的：・事業化開発に向けた課題の棚卸し
・ステップ2・事業化への改善ポイントの助言

➤ 時期：終了審査 2027年 3～4月頃

➤ 実施方法：書面を想定



達成目標（マイルストーン） 状況確認②

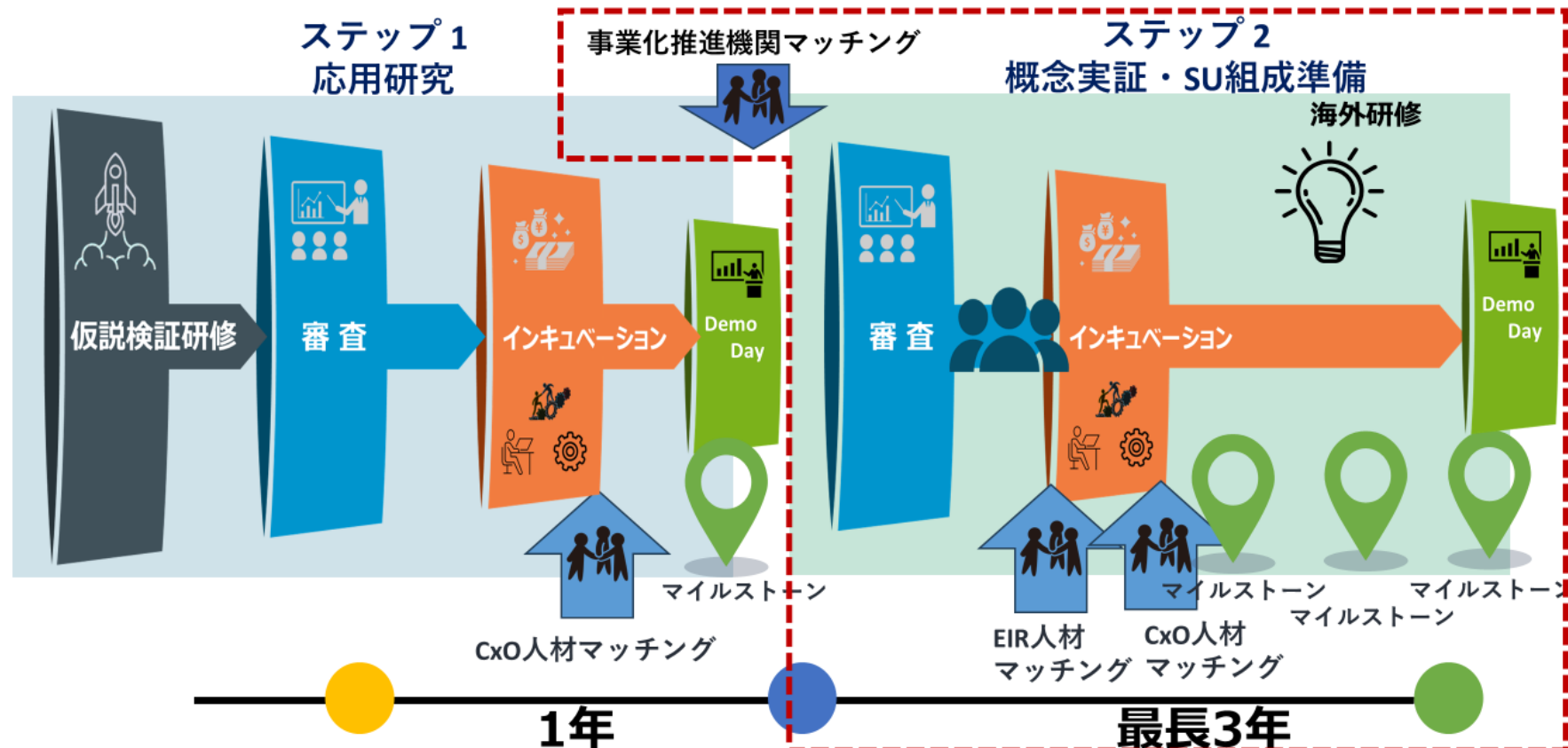
2026/3/6
STEP2エントリー説明資料

3. Tongali GAPファンドプログラムの概要



今回は「ステップ2」（赤枠部分）の募集

※ステップ2からの申込も可能であるが、ステップ1 相当の目標が達成できている事が前提
基礎研究の成果を、ビジネスサイドの可能性として評価できる



採択者向けホームページ・メーリングリスト

- Tongali-Xのホームページ内に、採択者向けホームページを提供。ツール、セミナー資料、アーカイブ等を提供（開設時に案内予定）
- 採択者向けの事務連絡用に、メーリングリストを用意（r7step1@tongali.net）
→ 別途 登録フォームを案内予定（行事案内・依頼事項等の事務連絡を受け取る方のアドレスを登録）

(準備中のためR6年度版を例示)

The left screenshot shows the Tongali X homepage. The navigation bar includes '起業支援' (Startup Support), 'イベント' (Event), 'ニュース' (News), 'Tongali Xとは' (About Tongali X), and '起業・ベンチャー支援' (Startup & Venture Support). A dropdown menu for '起業・ベンチャー支援' is open, showing options: '起業マニュアル' (Startup Manual), '技術シーズライブラリー' (Technology Seed Library), 'R5年度ステップ1 採択者向け ※関係者限り' (R5 Year Step 1 Selected Applicants Only ※For Related Parties), and 'R6年度ステップ1 採択者向け ※関係者限り' (R6 Year Step 1 Selected Applicants Only ※For Related Parties). A red box highlights the 'R6年度ステップ1 採択者向け ※関係者限り' link.

The right screenshot shows the '令和6年度GAPファンドプログラム『ステップ1』採択者向け情報共有サイト（関係者限り）' (R6 Year GAP Fund Program 'Step 1' Selected Applicants Information Sharing Site (For Related Parties)). The page content includes a breadcrumb trail: 'HOME > Tongali X > GAPファンドプログラム > 令和6年度GAPファンドプログラム『ステップ1』採択者向け情報共有サイト（関係者限り）'. The main text states: '令和6年度「ステップ1」採択者の皆様向けに、支援メニューや各種セミナー・説明会等、GAPファンドプログラムに関する情報を掲載していきます。' (For R6 Year 'Step 1' selected applicants, we will post support menus, various seminars, explanation meetings, and information related to the GAP Fund Program). The page lists support tools, a mentor pool, and commercialization support personnel matching.

Tongali-Xホームページ

<https://tongali.net/x/>

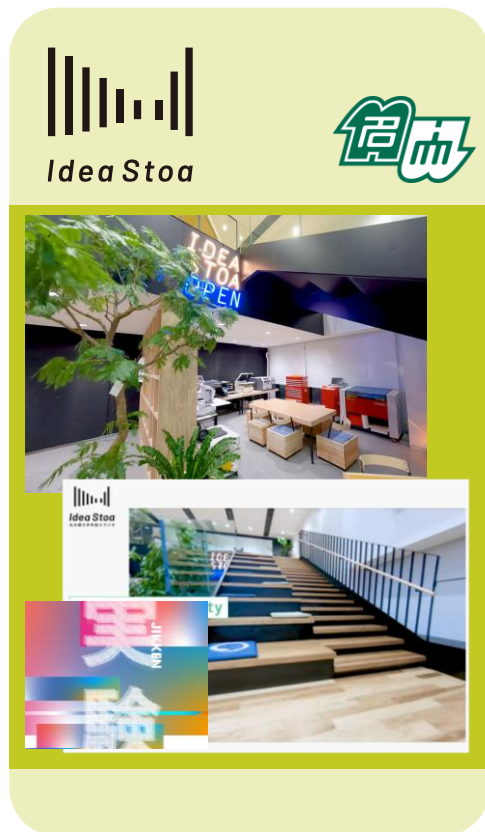
R7 STEP1 関係者ページ

<https://tongali.net/x/gap-fund/r7-step1/> (PW:Tongali_r7step1)

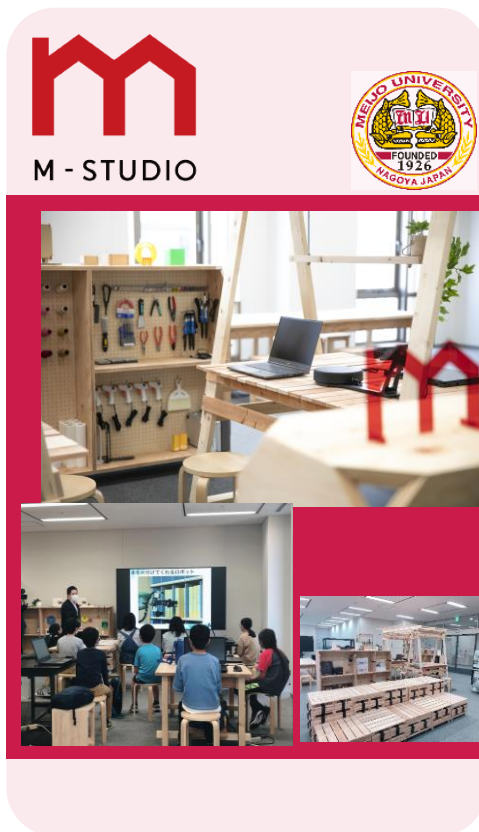
Tongali Lab／共用機器の活用

1. 試作スペース Tongali-Lab

Tongali連携大学の学生や研究者であれば利用可能



名古屋大学



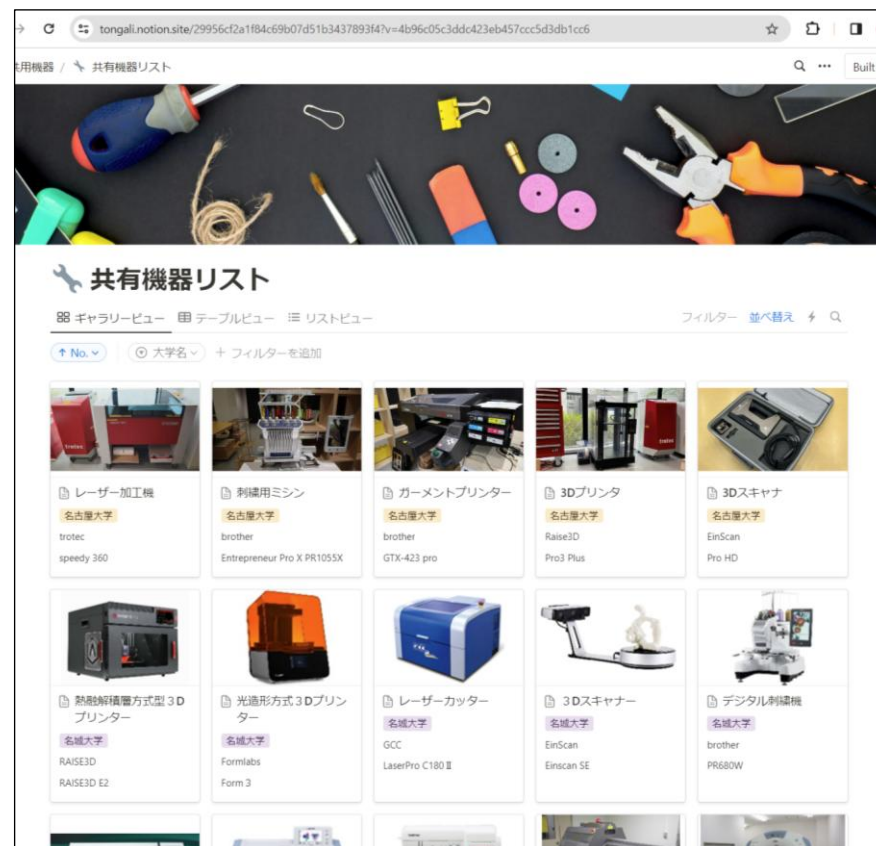
名城大学



光産業創成大学院大学

2. 機器の相互利用

Tongali 共有機器リスト



採択案件の情報発信

1. Tongali-PF HP掲載 (JST承認後・5月想定)



モノづくり-Deep Tech 他

名古屋大学

氏名	研究テーマ
岡 智絵美	磁性粒子鎖含有多孔質樹脂からなる5G, beyond 5G用電波吸収シート
加藤 竜司	細胞培養プロセス定量化による細胞製造DXと標準化
佐藤 綾人	気孔制御技術を活用した植物鮮度管理の事業化 -Green Breath Management-
西口 浩司	3D生成AIで実現するバーチャル試験と構造設計自動化
福澤 健二	添加剤開発のためのナノコンパス

名古屋工業大学

氏名	研究テーマ
伊藤 洋介	花粉Sweeper／帯電で花粉を吸着する革新的網戸
加藤 慎也	産業廃棄物シリコンから創るリチウムイオン電池の高性能負極材開発
岸 直希	安全・防災に向けた紐状センサー素子を活用した常態非難検知技術の事業化
本田 光裕	光触媒繊維で快適な空気環境をつくる
山口 慶太郎	セラミックス低温焼結技術による脱炭素セラミックスの事業化

岐阜大学

※JST正式承認まで採択は公表NG※

2. シーズ集 STSTの発行 (3月頃)

- ・VC/協業候補等への説明等に活用
- ・想定対応内容：素材提供、取材対応、原稿確認等 (11月頃～)



STATION Ai GAPファンド採択チーム向け 座席利用条件

STATION Aiの“会員向け”各種支援メニューの利用、STATION Ai内での実証実験や施設内で開催される各種イベント参加等は、専用座席を利用、活用いただいていることが前提

【使用可能期間】

GAPファンドプログラムへの参画(採択)期間終了まで

【利用権を付与するための主な前提条件】

月2回以上/座席利用権の利用

※ご利用実績を確認の上、座席利用権の返還を求める場合あり

【ご留意事項】

- ①座席利用権は個人と紐づくため、利用者の事前登録が必要
- ②会議室やPCブース、ロッカーやキャビネット、複合機は利用不可
- ③ご利用時にチームメンバーや外部ゲストの招待(無償)が可能
- ④プログラム期間中での利用者の変更も可能。

※同一月内で複数回の利用者変更は不可(利用者変更は同一月内で1回まで)



昨年度のSTATION Ai活用事例

非侵襲デバイス開発のため、データ測定会をSTATION Aiにて実施
幅広い年代からの測定協力を得られ、目標協力者数を大幅に上回る結果に

STATIONAi

🔍 知りたい内容についてきてみてください

🔔 📌 🔄 👤 📄 投稿を作成

ホーム 運営より トークルーム 企業紹介 イベント オフィスアワー アンケート 利用ガイドブック ギルド 運営への問い合わせ STAi

トークルーム > Event/イベント告知 > 📌 血圧波形ウェアラブル測定（2/18日12:00～14:00カフェ会の横）...

 Hedong Zhang(張賀東/名古屋大学) @NagoyaUniv_Zhang
2025年2月16日 23:33

📌 血圧波形ウェアラブル測定（2/18日12:00～14:00カフェ会の横）にご協力ください！ 📌

名古屋大学情報学研究所 張研究室では、「だれでも・どこでも・いつでも」血圧波形を測定できる腕時計型デバイスを開発中です！🔥🔥

このデバイスの開発に向け、測定にご協力いただける方を募集しています！

短時間で気軽に参加できるので、ぜひご協力をお願いします🙏🙏

📅 日時：2月18日（火）12:00～14:00

📍 場所：カフェ会の横のスペース

🕒 所要時間：事前説明10分+測定5分（合計約15分）

🎁 参加プレゼントあり！

開発中の腕時計型デバイスおよび市販の上腕血圧計を使って測定を行います。

血圧波形ウェアラブル測定研究
協力者募集中

 血圧波形

 開発中の腕時計型デバイス

 市販の上腕血圧計

実験目的
と内容

脳心血管病リスクの早期検知を実現するため、血圧波形を「だれでも・どこでも・いつでも」計測可能な腕時計型デバイスを開発しています。計測の電圧信号を血圧に変換するため、以下のデータを取得します。①開発中の腕時計型デバイスによる1～2分

25

座席利用登録後、最初の一歩としておススメのイベント)

毎週1回 (曜日不定) 12:00~14:00@STATION Ai 3Fセントラルラウンジ



活用例) 各企業・団体・自治体

- ・名古屋大学様 → 脈拍測定 of データ収集
- ・株式会社メニコン様 → 新商品アロマの体験会
- ・マルサンアイ株式会社様 → 新商品提供&PR
- ・株式会社Cominal様 → AIマッチングアプリ実験
- ・1F飲食店「&NAGOYA」様 → 試食提供&PR、LINE登録推進

特許取得費用の支援について

➤概要

スタートアップの競争優位性を確保するため、採択案件の研究開発費とは**別枠(※)**で単独特許の取得費用を支援（PCT/外国出願も可）

- 計画書に特許出願の計画を記載してください（新規出願に加え、既出願特許についての外国出願等の計画含む）（計画提出済み）

- 計画への記載内容については、各機関の知財部門等・伴走支援者にご相談の上記載願います。

※ 具体的な特許出願の支援金額は、各機関の知財部門等にて判断されます。（各機関のプログラム推進費）

③ シーズに関する知的財産の取得状況（周辺特許を含む）及びそれらのアライアンスやライセンス契約等の状況

※特許を取得している場合、発明の名称、特許番号（または出願番号）、発明者、出願人、出願日を記載下さい。特許以外の知的財産権の場合も、同様の情報を記載ください。

記載例：aaaの装置およびその製造方法、第 xxx 号（特願 20yy-zzz）、oooo、xyz 大学、20xx 年 y 月 z 日出願

※将来、当該シーズによるスタートアップを創出しようとした場合、シーズの発明者およびシーズが所属する機関等（出願人）の同意が得られているかについて必ず記載してください。

※当該シーズについて、既に企業と共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、その状況について具体的に記載ください。

Tongali 事務局にて追加（4/9）

④ 採択後の特許取得に関する戦略・計画

※③に記載した当該シーズの知的財産について、先行技術に対する競争優位性と、今後に向けた知的財産戦略についても具体的に記載してください。

※特許出願の計画を記載してください（新規出願に加え、既出願特許についての外国出願等の計画含む）各機関の知財部門等・伴走支援者にご相談の上記載願います。

（計画書 知財関連項目抜粋）

(参考) JST募集要項p.58-59からの抜粋

3.3.2 特許関連経費の直接経費からの支出について

大学発新産業創出基金事業では大学等発スタートアップ創出力の強化に取り組むこととしており、特に国際的に活躍するスタートアップを創出するためには、海外を含めた特許権取得は非常に重要となります。本公募プログラムでは、大学等を対象として、以下の 1 から 5 の要件をいずれも満たすことを条件として、特許関連経費を直接経費 (プログラム推進費) から支出することが可能です。また、条件を満たしていない場合でも間接経費から支出することが可能です。

1. 研究開発期間中に得られた研究成果、または、研究開発期間中に知財戦略を構築した結果、出願が必要となった成果（本研究開発期間開始前の成果）の出願であること。
2. 原則、委託研究開発期間内の出願であること。
3. 大学等の単独出願もしくは同一 PF 内の大学等の共同出願（共同出願が可能なのは PF 内の複数大学等で SU 創出プログラムを共同実施した際に得られた研究成果に基づく特許出願の場合のみ）であること。
4. 当該特許を基に起業したスタートアップが一定の収益を得た後、本公募プログラムで支出した特許関連経費分の費用（例：ライセンスの一時金等）を大学に支払う仕組みを、各大学等において策定すること。
5. スタートアップ設立に向けて必要な特許を確保するための方針や体制を PF 全体として定めていること。

※特許出願する場合、事前に知財戦略を十分検討してください。

※知財戦略上必要な場合、国内出願が済んでいる特許の外国出願（PCT 出願を含む）も対象となります。

※支出にあたっては、知財戦略および特許出願について記載のある計画書が JST で承認されている必要があります。

※成果の創出に寄与した研究費制度等において、特許出願に関して制約がある場合には、事前にその制約を確認してください。

直接経費による支出が可能な経費は、出願料（外国含む）、登録料、弁理士費用、関係旅費、手続き費用、翻訳費用（上限は 1 言語につき税抜き 100 万）等、出願・審査・権利化にかかる経費となります。ただし、維持年金、登録維持年金（登録料と不可分な場合は可）、訴訟等に関する費用などは対象外です。判断が難しい場合は JST に相談してください。

権利が大学等に帰属している特許を外国出願する場合は、JST の「知財活用支援事業」も活用できますので、ご相談ください。

https://www.jst.go.jp/chizai/pat/p_s_00summary.html

なお、国費による支援の重複を回避する観点から、本事業の直接経費で特許関連経費を支出する場合、本事業の研究開発期間中、同一内容の特許出願（外国出願を含む）に対して、本事業以外の国費又は国費を財源とする資金による支出はできません。また、本事業以外の国費又は国費を財源とする資金による支援においては、支援を受けるための要件が別途定められている場合がありますので、事前に十分ご確認ください。

お問い合わせ先

本説明会の内容についてのご質問は以下にお願いします。

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
イノベーション・アントレプレナーシップ推進室
Tongali事務局
tongali_x_admin@g.thers.ac.jp

Tongaliからはじまる Tech Innovation Smart Society の実現

